

5月給食だより



ふたば未来学園中学校・高等学校

給食の時間を有効活用し、食事のマナーを学ぼう！

学校給食は、ただの“昼ごはん”ではなく、食べ物や栄養、食事のマナーを学ぶ場でもあります。「食事のマナー」は、自分だけでなく、一緒に食事をする人が気持ちよく過ごすための“基本”です。大人になってからでは、なかなか直せません。まだ分からない・できないことは、給食の時間や、家庭での食事中に身につけるようにしましょう。給食や日本の食事マナーを守って、心地よい食事の時間を過ごしましょう。

机の上に筆箱はありませんか？

・食事の時間は、机の上には余計なものをのせないようにしましょう。

食器は正しく持てますか？

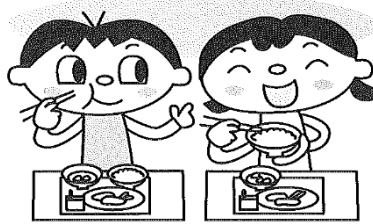
・親指はおわんのふちに、その他の指はそろえておわんの底にそえましょう。

箸の持ち方はできていますか？

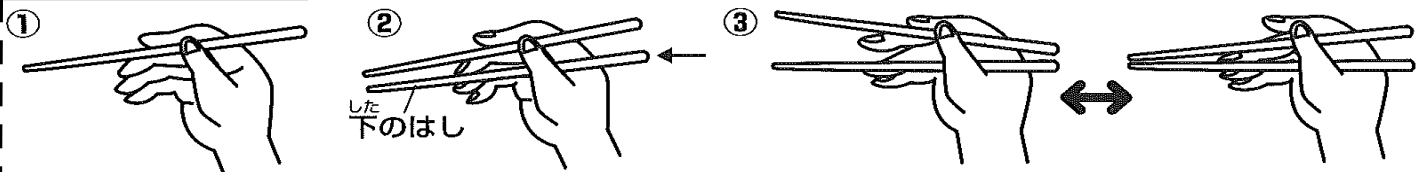
・できていない人が目立ちます。確認しましょう。

配膳は正しくできますか？

・主食は左手前、汁物は右手前、主菜は左奥、副菜は右奥です。



★箸の使い方★



①上の箸は、鉛筆を持つように親指、人差し指、中指で持つ。

②下の箸は、矢印(←)の方から入れ、親指の付け根と薬指で支える。

③上の箸を動かして、箸先を開いたり、閉じたりして食べ物をはさむ。

継続

●ふたば未来学園の給食～ベジマンデー献立について～●

ふたば未来学園は、双葉郡の復興も大きな柱の一つとして建学されました。「給食から発信できることは何か」食事を見つめ、私たちが地球のためにできることを考え、献立を作成しています。

「毎週月曜日の野菜中心の献立～食と環境の関係を見つめる～」

ベジマンデー献立は、毎週月曜日(英語でマンデー)に提供している動物性食品を使わない(使用量を減らした)献立です。「ベジ」の語源は、ラテン語の「ベジタス＝生命力にあふれた」の意味です。「畜産にかかる環境負荷などについて考えるきっかけになれば」との願いのもと、取り組んでいます。

「グローバルな視点を持つきっかけに」

ふたば未来学園は、グローバルな視点を持った人材の育成にも力を入れています。ベジマンデー献立は、多様化する食への理解を深めるきっかけとするため、ベジタリアン(菜食主義)食への理解や野菜中心の日本食の良さを再確認するための献立です。

